

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院脳神経内科に通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学脳神経内科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、通常の診療で取得される診療情報や検査データを用いて行う観察研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療で行われるデータを利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

神経変性疾患の病態解明のための探索的 MRI 画像解析

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学脳神経内科学講座 助教 高 真守

3. 研究の目的

難治性神経変性疾患（パーキンソン病や進行性核上性麻痺、多系統萎縮症、大脳皮質基底核変性症、筋萎縮性側索硬化症など）はいまだその病因が解明されておらず、そのため根本的な治療法が存在しません。近年、MRI の解析技術の進歩によりこれまでは検出できなかった異常が検出できるようになってきており、それによる病態解明が進んできています。今回の研究では、当科にて撮像された MRI を最新の解析法により詳細に再解析することにより、疾患の鑑別や病態を把握するための新たな所見を発見することを目的としています。本研究により精度の高い新たなバイオマーカーを見出すことができれば、実臨床への応用および今後の臨床研究における評価法の一つとして活用できる可能性があります。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2013年10月以降に当科に入院された患者さんのうち、上記の神経変性疾患と診断された方と、その対照となる脳の疾患が否定された方が対象です。またこの説明文書を読んでいただき、本研究に同意しない意思を表明された場合は除外させていただきます。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、罹病期間、常用薬、既往歴、家族歴、個人歴（喫煙歴、飲酒歴など）などの背景情報と診断名、神経症状および各種検査データ（精神神経機能検査、嗅覚検査、自律神経検査など）、画像データ（MRI、核医学検査）、病理学的検査（剖検例のみ）などです。

(3) 方法

本研究は本学のみで行います。診断毎の画像所見の違いや、上記臨床症状との比較などを探索的に調べます。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術

雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学脳神経内科学講座 担当医師 高 真守

TEL : 073-441-0655

FAX : 073-441-0655

E-mail : jinsoo@wakayama-med.ac.jp